

NPO/NGO アジア キッズ ケア だより

住所：〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-7 発行者：代表 喜安美紀 発行日：2008.2.11(通巻第1号)
HP：<http://www12.plala.or.jp/asian-kids-care/> E-mail：kids@zpost.plala.or.jp 設立：2004.2.11
TEL：090-5912-4515 FAX：089-985-0389 郵便振替口座番号：01600-5-13009 口座名義：アジア キッズ ケア

いつもアジアキッズケアの支援活動に御協力いただきまして、心より御礼を申し上げます。

当方では、今までホームページにて支援活動の報告を行ってききましたが、御支援いただいております皆様に対して、紙媒体でも支援活動の概要や支援地域の状況をお知らせし、2007年度の活動報告ができればと思っております。この度「アジアキッズケアだより」を発行しました。今後、定期的(年2回程度)にお届けさせていただきますしたいと思います。

これからも、引き続きまして、当方の支援活動への御参加・御協力をよろしく申し上げます。

2008.2.11

アジア キッズ ケア代表 喜安 美紀

支援物資(衣類、文具、楽器、日用品等)の発送

全国から事務所に届けられた支援物資を、毎月第4日曜日の14:00～ボランティアの方々により、発送先のニーズに応じて心を込めて荷造りし、現地協力者に発送するとともに「ハンド to ハンド」で支援の必要な孤児等に手渡しています。小・中・高校の子どもたちが当方のボランティア活動に参加してくださり、思いやりや豊かな情操が育っていることも大変嬉しく思っています。

<発送先>

- ・2007. 4 カンボジア：カンポト、コンボンチャナング
- ・2007. 6 インド：カシミール
- ・2007. 8 インド：チェンナイ
- ・2007.10 韓国：羅州市
- ・2007.12 ガーナ：アクラ
- ・2008. 2 マラウイ：リロングウェ
- ・2007. 5 マラウイ：リロングウェ
- ・2007. 7 ザンビア：カフィー、ガーナ：アクラ
- ・2007. 9 マラウイ：リロングウェ
- ・2007.11 カンボジア：カンポト、コンボンチャナング
- ・2008. 1 ザンビア：カフィー
- ・2008. 3 インド：チェンナイ(予定)

<インド> インドは、2か所に支援物資を届けています。チェンナイでは、タンガチャン牧師が孤児院に加え、老人のための支援も行っています。松山福音センターの万代栄嗣牧師が孤児院を訪問して、孤児一人ひとりにサイズの合う衣類を手渡して下さり、子どもたちはとても喜んでいました。

<ザンビア> ザンビア支援は、「ザンビアこども基金」のエラースさん、明子さん夫妻との出会いから始まりました。シモン牧師との連携により、孤児に支援物資を届けています。エイズ等の病気の広がりとともに、学校に行けない子どもは就職できない厳しい現実があり、教育の充実が特に必要になっています。

<韓国> 尹祥翼(ユン・サンイク)さんは、55歳で日本に留学し農業博士号を取得した70歳の方ですが、韓国の恵まれない子どもたちに日本語や歌を教え、当方の支援物資を手渡して下さっています。韓国と日本の架け橋となる子どもの育成のために協力して下さり、文具はとても役立っているとのこと。

<ガーナ> 愛媛大学院の海外留学生ジョセフさんは、毎月当方の荷造りボランティアに参加して下さり、現地のマウーコさんと連携して、ガーナの孤児たちに支援物資を届けています。船便で5～6か月掛かりましたが、衣類、文具、楽器、体育用品等を受け取って、感謝のメールが届きました。



インド支援



ザンビア支援



韓国支援



ガーナ支援

里親支援活動(孤児等の生活・自立のための経済的サポート)

里親支援活動では、インドの孤児院への支援に加え、今年度よりカンボジア孤児、マラウィ孤児、スラム・チルドレンへの支援を開始しました。現地協力者と連携して、長期的なビジョンのもと、孤児の生活・教育・就労環境の向上を図りながら、子どもたちの自立を支援しています。

<インド孤児支援> タンガチャン牧師が献身的に無償の愛を注いで、孤児たちの支援を行っています。職業教育に熱心に取り組み、孤児の中には高校・短大に進んだり、縫製等の技術を身につけたり、運転免許などの資格を取得している他、孤児院の卒業生が支援活動を手伝うようになっています。

<カンボジア孤児支援> サラン牧師の始めた孤児院は、数年前に比べて倍増しています。サラン牧師及びスタッフとの連携により、支援物資の送付とともに、孤児たちの教育面での充実に取り組み、特に高等教育が必要な子どもを支援するなどして、就労・自立を進めています。

<マラウィ孤児支援> 2007年8月まで、当方の活動を手伝っていた愛媛大学院留学生のモーゼスさんが帰国し、彼と現地支援団体VEMとの協働による孤児のための里親支援活動を開始しました。マラウィは、世界銀行の最も貧しい国の10に入る国で、食糧難、エイズ等の病気の影響によって、支援の必要な孤児の数が急速に増え、緊急の子ども支援が求められています。

<スラム・チルドレン支援> アメリカ・ニューヨークの貧困・犯罪・虐待などに満ちたスラム街で、25年間子ども支援を継続しているのがビル・ウィルソン牧師です。彼自身が孤児ですが、彼の日曜学校には、毎週2万人を超えるスラム・チルドレンが笑顔で集い、彼は愛と希望と正しい生き方を教えています。彼は銃で撃たれ、スタッフが殺されても、毎週すべての子どもを訪問して献身的な支援活動を行っています。



インド孤児支援



カンボジア孤児支援



マラウィ孤児支援



スラム・チルドレン支援

支援活動への協力をお願い

- アジアキッズケアのロゴ入りTシャツ&トレーナーの販売を始めました。これらの収益は、すべて支援活動(支援物資の送付、孤児等への里親支援)に充てていますので、御協力をお願いします。
- できましたら、会員として継続的に当方の支援活動に御参加・御協力いただき、孤児の健やかな成長と自立を支えてくださいますようお願いいたします。

<アジアキッズケアのロゴ>



<Tシャツ 価格:1850円>
(色:白、サイズ:S・M・L)



<トレーナー 価格:2750円>
(色:淡いグレー、サイズ:S・M・L・LL)



Asian Kids Care
Present My Heart & Love.

2008年度における支援活動のビジョン

- 支援物資(現在まで8か国、10か所に届ける)の発送数を増やすとともに、里親支援活動において支援する孤児の人数を増やし、孤児等の自立のための環境整備を図っていきます。
- 支援物資の発送については、支援物資を安定的に供給していくために、継続的に支援していただける協力企業を募るなど、送料資金面での体制強化を図っていきます。

※ 御支援いただいております皆様の善意に対しまして、アジアキッズケアは、責任を持って応えていきたいと思っています。たくさんの方々の御支援を心から感謝申し上げます。